

# 鉄輪まち歩き



街中から溢れ出す湯けむり！



名物「地獄蒸し料理」

鎌倉時代（建治2年）に一遍上人が念仏行脚の途上に鉄輪の地を訪れた際、猛り狂う地獄地帯を鎮め、湯治場（鉄輪むし湯）を開いたのが始まりとされている。

鉄輪温泉は湯治場の色彩が強く、今なお木賃宿や旅籠の起源を持つ古い宿泊施設が旅館や貸間として残り、路地を挟んで小規模な湯治宿が建ち並ぶレトロで情緒豊かな町並みを形成している。

まちのいたるところで湯煙を上げる鉄輪温泉地区の町並の景観は、「別府の湯けむり・温泉地景観」の名称で2012年9月19日に重要文化的景観として選定されている。





## 竹製温泉冷却装置「湯雨竹」

100℃の熱湯が数秒で47℃に！

鉄輪温泉は高温の温泉地で、湧出する源泉温度は100℃前後です。湯雨竹は、その高温な温泉を加水等する事なく源泉100%で提供できるように開発された装置です。

## 地獄蒸し工房鉄輪

摂氏98度、100%地熱エネルギーの温泉噴気を利用した、別府鉄輪温泉では江戸時代から用いられていた伝統の調理法「地獄蒸し料理」を体験できる施設です。その他にも、温泉冷却装置モニュメント「湯冷滝（ゆれいだし）」や「飲湯場」、隣のポケットパークには「足蒸し」や車椅子の方でもご利用いただける「足湯」も準備しております。



## 車椅子のまま利用できる「足湯」

### 「一遍上人」の像



一遍（いっぺん）は鎌倉時代中期の僧侶。時宗の開祖。布教の旅に出た一遍上人が、この鉄輪を訪れ、荒れ狂う地獄を鎮め「むし湯」のほか「熱の湯」「渋の湯」など、今も人々に愛される温泉を作ったとされています。ここ鉄輪では、毎年9月には温泉山永福寺にある上人像を温泉で洗い清める「湯あみ法要」が行われ、一遍上人ゆかりの土地です。

別府市風呂本5組（いでゆ坂沿い）

（電話）0977-66-3775

休館日：毎月第3水曜日

※営業時間の情報は本HPをご覧ください。

## 鉄輪むし湯



1メートル四方の木戸を開けて中に入ると約8畳の石室があります。温泉で熱せられた床の上には石菖（せきしょう）という清流沿いにはか群生しない葉草が敷き詰められていて、その上に人が横たわります。石菖はすばらしい香りで、「豊後鉄輪、むし湯の帰り、肌に石菖の香が残る」と詩人の野口雨情が詠っているほどです。



### 湯あみ堂本舗

看板商品の「湯あみせんべい」は、柚子と赤味噌を練りこんだ生地を焼いた煎餅で、とても香ばしく食感も良く、続けて何枚も食べたくなる美味しさです。



### 鉄輪豚まん本舗

皮・具ともに手作り！地獄蒸しで一気に蒸しあげた豚まんは熱々でもどジュシー。豚まんを片手に、まち歩きを楽しむのもおススメです！